



気象庁発表 全国1か月予報(平成29年12月28日発表)

- 北日本では、大陸からの寒気の影響は小さい一方、低気圧の影響を受けやすいでしょう。このため、向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。また、太平洋側の向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みです。
- 東・西日本では、冬型の気圧配置が強まりやすいでしょう。このため、向こう1か月の気温は、西日本で低く、期間のはじめ気温の低い状態が続く見込みです。東日本では、向こう1か月の気温は平年並か低いでしょう。また、日本海側の向こう1か月の降雪量は平年並か多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込みですが、寒気や湿った空気の影響を受けやすい時期があり、向こう1か月の日照時間は平年並か少ないでしょう。

(12/31~1/31まで)

迎春

謹んで初春のご祝詞を申し上げます

旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も変わらぬお引き立てのほどよろしくお願ひいたします。

本年が良き年となりますよう皆様のご発展を祈念申し上げます。
平成30年 元旦



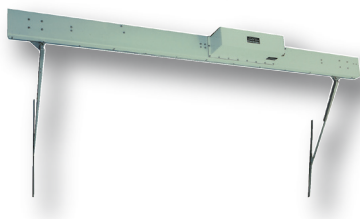
■主要目 全長:339.5m/幅(型):60.00m/深さ(型):28.50m/
総トン数:15万9793トン/載貨重量トン数:31万2539トン/
主機関:三井-MAN&W 7G80ME-C9.5ディーゼル機関 1基/最大搭載人員:36人

世界最大級310,000トン型VLCC「キリシマ」竣工 —エコシップ「neoVLCC」—

先般、三井造船株式会社殿千葉事業所で建造された、パナマ国ASIASHIP MARITIME S.A.社向けVLCC(超大型油タンカー)「キリシマ」(第1932番船)が竣工致しました。

キリシマは、日本の主要港への入港を考慮した世界最大級の載貨重量と貨物油タンク容積をもつ超大型油タンカー(VLCC)であり、次世代型エコシップとして燃費性能に優れたタンカーですが、本船に弊社のウインドアラームとデータロガー及びウインドワイパーが搭載されています。

WP55R 平行型ダブルアーム式ワイパー



WP56R 平行型シングルアーム式ワイパー



大型化する横長の窓を隅々まできれいに拭き取る快適性を備え、外装部分にはステンレスを使用し、耐久性、剛性、安定性に優れた製品です。

＜風向風速の警報装置とデータロガーの紹介＞



N363D
風向風速発信器

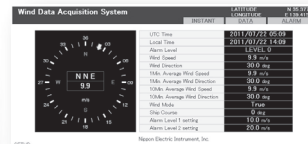
MM52風向風速指示器



D11A2風向風速指示器



現在画面例



ウインドアラーム／本装置は、Exxon 2010規則を満足する風向風速計とデータロガーの警報システムであり、可視・可聴の任意2点警報装置を有し、船の位置情報と共に風向風速データと警報を自動保存します。

(特徴)

- 風速が設定値以上になると、警報が発生し、その時刻、位置情報および真風向風速値(絶対値)を自動記録します。(約6か月分のデータ保存が可能)
- 新造船はもとより既存の風向風速計へ接続する事が出来ます。
- Webロガーを搭載しており、一般的なブラウザでデータが閲覧出来るので専用ソフトが不要です。
- Webですので船内LAN上のPCやネット経由で陸からリアルタイム接続し、過去と現在データのモニターが出来ます。